

# 東地協ニュース 2004.春 第3号



## 協会の活性化について

副会長 金道繁紀

多くのものづくりの現場では、最近とみに生産性が上昇し、企業収益が好転しているようです。もっとも旧態依然たる事業は不振のままのようです。旧態依然といえば当協会も最たるものですが、喜ばしいことに最近少しずつ変化の兆しが見え始めています。例えば、

- 協会広報の対象を官公庁だけでなく、不動産組合や、建築家協会にまで広げる案
- 協会ホームページの顧客コンセプトを最終ユーザーである国民に合わせて、もっとわかり易い表現に変える案
- 会員名簿を単なる一覧表形式でなく各企業アピール型に変える案

など、協会を活性化しようという意見が役員会で飛び交っています。

話を変えますが、去る3月11日に関東地質調査業協会と経営者懇談会の共催による米長邦雄永世棋聖の講演を拝聴しました。その中で棋聖は「デジタル人間は、棋士として強くならない。」と云っておられましたが、稽古人間すなわちアナログ人間のほうが最終的には強くなるということでしょう。

私たち地質調査業の人間にも同じことが言えると思います。特に今日のような情報化(IT)社会では、誰でも、簡単に、安価に、知識が手に入りますから、会社で活躍できるのは書物や論文に書かれた「専門的知識」を豊富にもった技術者ではなく、豊かな現場経験と評価・考察を通して磨かれた鋭い直感や、深い洞察力を持ったアナログ技術者です。にもかかわらず、比較的高齢で、かつ比較的高給であるがゆえに、不況下では疎外された優秀な技術屋がいっぱい下野しています。

もったいない話です。協会が中心になってこういう技術者達に声をかけ、登録などしていただいて、お互いの活性化に結びつける手立てはないのでしょうか。

会員の皆様方のお知恵を拝借したいとつくづく考えます。ぜひご意見をお寄せください。

## 会議報告等

### 1. 3月3日 理事会・全体委員会

#### (1) 会員の退会について

会員のサンエー基礎調査株式会社より、3月末日にて退会したい旨届出があり、これを承認した。

#### (2) 協会ホームページへの土壌汚染調査の問合せ先名簿掲載の件

昨年10月に協会技術委員会(環境部会)が実施した会員への土壌汚染調査・対策技術に関するアンケートの結果を一覧表にまとめ、指定調査機関への指定状況及び各社の問い合わせ先を協会ホームページ上で公開し、外部に対し広くアピールするものとする。

※ 他、平成15年度仮決算、平成16年度事業計画及び予算案、第12回通常総会について

### 2. 第12回通常総会

去る3月24日(水)、測量地質健保会館7階大会議室において協会第12回通常総会が開催された。当日は会員数44社に対し、30社が出席。議事の概要は以下の通り。全議案が承認され、滞りなく終了した。

#### (1) 平成16年度事業計画(案)承認の件

#### (2) 平成16年度収支予算(案)承認の件

※ (1)、(2)ともに異議無く承認された。

#### (3) 役員の変更の件

任期満了に伴い役員の変更が行われ、以下の方々それぞれ就任された。

#### 平成16～17年度 役員

(順不同・敬称略)

#### ・理事(14名)

—外部理事 8名—

安田 進 東京電機大学理工学部 教授  
山崎 晴雄 東京都立大学大学院理学研究科 教授  
若松加寿江 東京大学生産技術研究所 研究員

田中 政治 公認会計士田中政治事務所 所長  
津田 三郎 東邦地下工機株式会社 東京業務部長  
貫井 喜充 株式会社神谷製作所 専務取締役  
赤瀬 暁 有限会社アカセ技術事務所 代表取締役  
熊谷 孝司 株式会社京設計 代表取締役

—内部理事 6名—

会 長 大越良裕 大和試錐工業(株) 代表取締役  
副会長 早田守廣 大和探査技術(株) 代表取締役  
副会長 金道繁紀 (株)地盤試験所 代表取締役  
技術委員長 大竹 勉 基礎地盤コンサルタンツ(株) 関東支社 技術部長  
総務委員長 鳥塚 明 (株)富士ボーリング 技術本部第二技術部 課長  
広報委員長 中込実敏 協和地下開発(株)営業部長

#### ・監事(2名)

原島 滋 (株)ダイエーコンサルタンツ 代表取締役  
飯田秀雄 (株)日さく 取締役東日本事業部長

### 3. 4月8日 理事会・全体委員会

#### (1) 平成15年度収支決算報告

#### (2) 第13回通常総会について

場所：東京都庁都議会棟 6階 第1会議室

日時：平成16年5月18日(火)

15:00 ～ 講演会

※ 土壌汚染調査の動向について

16:00 ～ 第13回通常総会

17:10 ～ 懇親パーティ(会費：4,000円)  
(於：1階レストラン「百兆」)

総会議題：1) 平成15年度事業報告の承認の件  
2) 平成15年度収支決算報告承認の件  
会計監査報告  
3) 平成16年度事業計画変更承認の件  
4) 平成16年度収支予算変更承認の件

#### (3) 委員の補充について

—総務委員会—

[退任]

総務委員長 佐藤孝治氏(日本物理探査(株))  
総務委員 高橋雅紹氏(サンエー基礎調査(株))

[新任]

佐藤 剛氏 (日本物理探鑛(株))  
花澤弘児氏 ((株)土質基礎コンサルタンツ)

—広報委員会—

[退任]

広報委員長 安藤福二氏 (土質コンサルタント(株))  
広報副委員長 長瀬雅美氏 (応用地質(株))  
広報委員 山崎真佐枝氏 ((株)ダイエーコンサルタンツ)  
広報委員 高橋 仁 氏 (住鉱コンサルタント(株))

[副委員長の就任]

広報副委員長 天神 悟 氏 (基礎地盤コンサルタンツ(株))  
広報副委員長 泉田昌利氏 (多摩ボーリング(株))  
広報副委員長 大野弥治氏 (大和試錐工業(株))

[新任]

横田義男氏 (応用地質(株))  
黒金牧子氏 ((株)ダイエーコンサルタンツ)  
田部真吾氏 (住鉱コンサルタント(株))  
久保佳慎氏 (土質コンサルタント(株))

(4) 会員増強特別委員会について

15 年度後半活動を一時休止していた委員会を再度立ち上げ、会員増強を図る。委員会の構成は、従来の委員も含め、一部変更して活動予定。

(委員名は次号掲載予定)

(5) 清和政策研究会フォーラム

顧問伊藤公介先生よりご案内

平成 16 年 4 月 21 日 15 : 30 ~ 赤坂プリンスホテル  
→ 大越会長出席

(6) (社) 首都道路協議会総会及び講演会について

平成 16 年 5 月 11 日 (火) 13 : 30 ~ 15 : 30  
東京区政会館本館 8 階 大会議室  
→ 大越会長, 早田副会長, 飯田監事,  
山口広報副委員長出席予定

～ 第 12 回総会より ～



・ 総会風景 (於 : 測量地質健保会館 7 階大会議室)



・ 感謝状の授与  
このたび理事を退任された佐藤氏と安藤氏へ、会長より感謝状が手渡された。



・ 新役員あいさつ

## 総務委員会活動報告

年度末を迎え決算報告や東地協ニュース作成・総会の準備に携わっております。

以下に、活動報告をいたします。

- ・第9回総務委員会 平成16年1月28日(水)  
収支報告及び東地協ニュース作成の件
- ・第12回通常総会 平成16年3月24日(水)  
総会の受付事務手伝い  
※ その席で総務委員長及び広報委員長の  
退任と新委員長の発表があった。
- ・新年度第1回総務委員会 平成16年4月5日(月)  
15年度の収支決算報告  
第13回通常総会とパーティについて打合せ  
正会員44社・賛助会員10社(4月現在)  
東地協ニュース作成最終打合せ  
委員補充の件(2名減少の為)

皆様のご希望等がありましたらどうぞ総務までお寄せ下さい。今後も会員の皆様にいろいろな情報を届けていきたいと思っております。

(総務委員長 鳥塚 明)

## 広報委員会活動報告

初めに、この場をかりまして一言、第12回通常総会にて広報委員長に就任いたしました中込と申します、微力ではありますが、当協会の発展の為頑張りますので皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

さて、本題の活動報告ですが下記のとおり実施いたしました。

○平成15年度後期広報活動(平成16年2～3月)

### 【広報先】

#### 国関係

国土交通省	6事務所、30ヶ所
東京郵政公社	2ヶ所
都市基盤整備公団	3事務所、11ヶ所
首都高速道路公団	3事務所、14ヶ所
東京地下鉄(株)	8ヶ所

#### 東京都関係

本庁	12局、78ヶ所
事務所	38事務所、180ヶ所
住宅供給公社	4ヶ所
東京消防庁	2ヶ所
東京港埠頭公社	3ヶ所
新都市建設公社	9ヶ所
道路公社	2ヶ所
区役所	23区、147ヶ所
市役所	26市、118ヶ所
町役場	3町、9ヶ所
村役場	1村、2ヶ所

### 【配布資料】

積算資料(赤本)	52冊
技術ノート	768冊
協会案内	126冊
アンケート	257枚
業務経歴	129枚

○平成15年度第4回広報委員会(平成16年3月19日(金))

### 議 題

1. 後期広報活動結果について
2. 多摩市防災講演会について
3. 葛飾区防災講演会について
4. その他

(次回の広報委員会は平成16年6月頃の予定)

最後に、広報委員を募集しておりますので、是非ご検討下さい。又、体験参加だけでも大歓迎です。詳しくは事務局までご連絡下さい。お待ちしております。

(広報委員長 中込 実敏)

## 技術委員会活動報告

新年度を迎えた現在、平成 15 年度における技術委員会活動報告をさせていただきます。

はじめに「ノート部会」の活動について報告いたします。技術ノート 36 号は、「東京の斜面と災害」をテーマとして、主に東京西部地域の山間地域等で発生している斜面災害を取り上げました。一口に斜面災害といっても、それらを管轄する機関によって災害や対策の考え方に違いがあります。道路斜面災害、河川砂防および治山事業等それぞれを取材対象にしました。技術ノートとしてはこれらを偏りなく、分かりやすく読者の方々に紹介するための工夫と管理者や現地を何度も訪れて取材しました。36 号ノートを取りまとめるには多くの困難と苦労が伴いましたがその分中身は充実しており、読者の方々の期待に十分に答えられる内容となって発刊に結び付けることができました。一人でも多くの方々の目に触れて欲しい記念すべき一冊です。

「講演部会」のメインイベントである技術フォーラムは、11 月 14 日に池袋にある測量地質健保会館において開催いたしました。技術発表シンポジウムは 12 編でした。業界の現状を反映して探査、計測、分析機器、環境分野等の新技术新分野の紹介が目立ちました。また、招待講演としては東京都土木技術研究所の杉本技術部長（現（株）日建設計シビル 参事）による“地下水流動保全アセスメントと東京の対策事例”と題した地下構造物建設に伴う地下水障害とその対策を具体的に紹介していただきました。

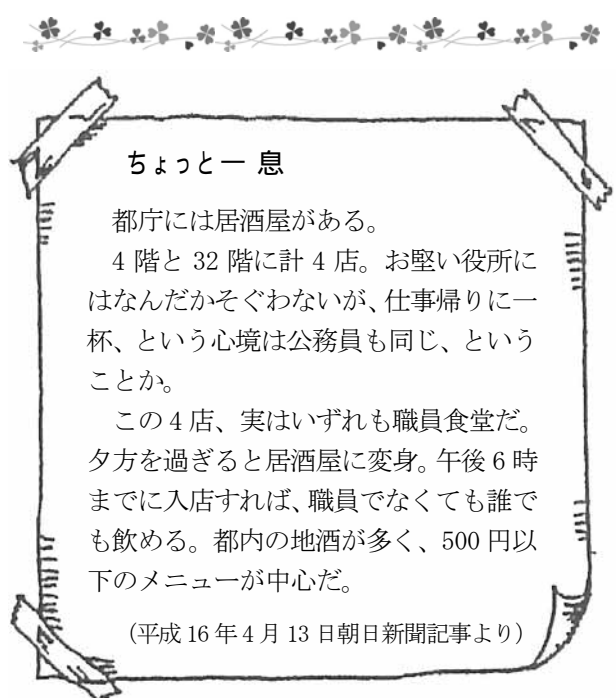
防災展は、8 月 29 日～9 月 1 日に「防災フェア 2003」が内閣府・都主催の丸ビルで開催されました。これにはパネル展示参加として、地震災害・斜面災害・三宅島火山災害等を主体にして出展しました。さらに、11 月 20 日～23 日に消防防災展が東京ビッグサイトで開催され、都からの出展要請により同様なパネル展示を行

いました。

防災講演会は、多摩市と葛飾区から要請がありました。それらに答えて、協会理事である都立大の山崎先生と東大生産技術研究所の若松先生によって、先生方の専門分野から立川断層関係や液状化による災害等について講演していただきました。なお、その詳細は他のところで紹介させていただいておりますのでここでは割愛します。

昨年度の大きな事業の一つとして、技術委員会の中に「環境部会」を立ち上げたことです。最近、土壤環境調査が多くなっておりますことから、技術委員会としても会員へのビジネスチャンスをつくるために、外部からの問い合わせ対応や関連業界との連携を図るための準備作業をこの一年間において実施しました。協会各社の紹介リストをホームページに掲載したり、外部からの問い合わせ対応マニュアル作成が成果となりました。新年度は関係業界との連携活動や講演会の開催を予定しております。ご期待いただきたいと思います。

（技術委員長 大竹 勉）



## トピックス(協会行事紹介)

### 1月24日多摩市防災講演会を開催

平成16年1月24日多摩市主催・東京都地質調査業協会後援で防災講演会を開催致しました。(参加者約100名)

平成12年に協会後援で当市の防災講演会を開催した実績もあり、講師もまた前回ご講演を頂いた東京都立大学大学院理学研究科地理学教室教授・山崎晴雄先生(当協会理事)をお願い申し上げることとなりました。今回の防災講演会では「多摩市の地盤条件と自然災害」と題し、関東で予想される地震の震源や立川断層活動の可能性、関東地震での多摩市の被害状況等多岐にわたり大変興味深いお話をしていただきました。

講演の後では、関東地震で被害の多かった地区の住民の方から地盤の事や地震と断層の関係について多数ご質問があり、時間を超過してしまったほど大変盛況でした。

また、山崎先生の前にお話をされた多摩消防署・安永消防士長からは、トルコで起きた実際の地震で倒壊したホテルの下から生存者を救助した救援活動の体験とおした貴重なお話がありました。

当日は、お天気も心配もなく、また、予想通りの参加者があり、満足いく結果となったと市担当者から喜びのお言葉を頂き、講演会は無事終了致しました。

(広報委員 山崎真佐枝 ・ 技術委員 森口安宏)



### 葛飾区防災講演会が開催されました



去る3月17日に葛飾区内の地域防災リーダーを対象とする防災講演会が高砂地区センターで午後7時～9時の間に開催されました。講師は、東京大学生産技術研究所研究員で、当協会の理事をされています若松加寿江先生に、ご無理を言ってお願いいたしました。講演会は、当日の日中から春の強風が吹き荒れていましたので、参加者が少なくなることを懸念していましたが、最終的には153名の地域の防災リーダーが熱心に参加されて盛況な講演会となりました。

葛飾区は、0メートル地帯が広がっており、常に水害に悩まされていたために防災課の担当者の方から講演内容に水害を入れていただきたいと要望がありましたので、先生にその旨お伝えしました。若松先生が決定したテーマは、『見直そう地域の防災対策』地形・地質で知るあなたの町の災害危険度ー自然災害から生命と財産を守るためにーとなりました。

若松先生は、都市型水害に関する実例を最初に話され、地震に対して身近で実施すべき防災対策と液状化に関して実際に現地を踏査された内容を地名と関係つけて講演をされました。時間はあっという間に過ぎて、大好評のうちに講演会は終了し、参加された皆さんで使用した椅子を片付けて、強風の中を帰路につきました。

(技術委員 前原俊春)

## 行事日程

日程	行事名・内容等
5月11日(火)	<b>(社)首都道路協議会・総会及び講演会</b> 場所：東京都区政会館 本館8階大会議室
5月18日(火)	<b>第13回通常総会(決算総会), 講演会</b> 場所：東京都庁都議会棟6階第1会議室 講演：土壌汚染調査の最近の動向 — 都条例を踏まえて— 講師 (株)日さく 地盤環境事業部 部長 荒井 正 氏
8月23日(月) ～27日(金)	<b>平成16年度 防災展示</b> (東京都, 新宿区, 東京都葛飾福祉工場と共催) 場所：新宿駅西口地下広場 「イベントコーナー」

## 会員(正会員・賛助会員)動静

- (1) 会員の退会 (平成16年3月31日)  
サンエー基礎調査株式会社
- (2) 会員の入会 (正会員 1社, 賛助会員 1社)  
 <正会員> (平成16年4月1日付 再入会)  
 株式会社 土質基礎コンサルタンツ  
 代表者：久保 満 郎  
 所在地：〒114-0024  
 東京都北区西ヶ原 1-4-5  
 TEL 03-3918-7721  
 FAX 03-3918-7736
- <賛助会員> (平成16年4月1日付 入会)  
 株式会社 村田製作所  
 代表者：村田 芳雄  
 所在地：〒166-0002  
 東京都杉並区高円寺 2-1-24  
 TEL 03-3338-0115  
 FAX 03-3338-0116

### (3) 代表者及び住所, 営業所名の変更の件

#### — 代表者変更 —

- ・住鉦コンサルタント株式会社 東京支店  
代表者：[新] 飯 森 宏 一 氏  
[旧] 棚 瀬 充 史 氏
- ・株式会社 地盤調査事務所  
代表者：[新] 廣 田 伸 章 氏  
[旧] 橋 本 照 雄 氏
- ・株式会社 日さく 東京営業所  
代表者：[新] 半 田 修 氏  
[旧] 飯 田 秀 雄 氏

#### — 住所変更 —

- ・株式会社 土質基礎研究所  
新住所：〒152-0021  
東京都目黒区東が丘 2-11-16  
TEL：03-3424-7253 (変更なし)  
FAX：03-3410-4045 (変更なし)
- ・日鉄鉦コンサルタント株式会社  
新住所：〒108-0014  
東京都港区芝 4-2-3  
TEL：03-6414-2760  
FAX：03-6414-2770
- ・協和地下開発株式会社 (平成16年5月10日より)  
新住所：〒101-0031  
東京都千代田区東神田 3-1-2  
TEL：03-3862-4931 (変更なし)  
FAX：03-3862-4933 (変更なし)

#### — 営業所名変更 —

- ・株式会社 マスダ技建 東京支社  
営業所名：[新] 東京支社  
[旧] 東京本社



## 「技術ノート」のご紹介

技術ノートは、当協会技術委員会が技術情報誌として昭和62年12月に創刊号を発行して以来、平成16年2月現在で第36号に達しています。

東京を舞台とする様々な話題の中に地形、地質との関連又は基礎工学的な話を織り込みながらその歴史や現在を伝える内容となっています。



### 技術ノート既刊リスト

No.	タイトル	発行年月	備考
1	東京都の地形区分図・地質断面図	S62.12	
2	超高層ビルの地質と基礎形式	S63. 3	*
3	江戸城なりたち、その地形・地質との関係	S63. 7	
4	東京湾の埋立、その歴史	S63.10	
5	東京の川と水	H 1. 3	*
6	建築基礎工法の変遷、その地質との関係	H 1. 8	
7	隅田川の橋、その地質と基礎形式	H 1.12	
8	東京の地下鉄	H 2. 5	
9	東京の石	H 2.11	
10	新東京都庁舎	H 3. 3	
11	東京の遺跡	H 3. 7	
12	東京の高速道路	H 3.12	
13	東京の温泉	H 4. 3	
14	都内の庭園	H 4. 9	
15	山手線	H 5. 3	
16	東京のベイエリア	H 5.10	
17	東京の下水道	H 6. 3	
18	東京のエネルギー	H 6. 9	
19	東京の山	H 7. 3	
20	東京の上水道	H 7. 9	
21	東京の低地	H 8. 3	
22	東京の運河	H 8.10	
23	東京のトンネル	H 9. 3	
24	東京の防災	H 9. 9	
25	東京の川・神田川	H10. 3	
26	東京の台地	H10.10	
27	東京の道	H10.12	
28	東京の水辺	H11. 3	
29	東京のまちなみ	H11.10	
30	首都圏を支える鉄道網	H12. 3	
31	東京の公園	H12. 9	
32	東京のお酒	H13. 3	
33	三宅島	H13. 9	
34	大江戸線	H14. 3	
35	東京の野菜	H14.10	*
36	東京の斜面と災害	H16. 2	

※ 備考欄に「\*」のあるものは、在庫無し。

その他のバックナンバーについては、実費にて頒布いたします。  
ご希望の場合は、協会事務局(TEL:03-3252-2963)までご連絡下さい。



## ・編集後記・

第12回通常総会も無事終了し、新年度最初の東地協ニュース第3号を発行するにあたり毎号毎号、編集内容が同じになり読者の皆様には物足りないと思います。が今後の課題とさせていただきます。

これに携わっておりますスタッフもいろいろな企画、構成を考えておりますが、会員の皆様の良いアイデア、ご意見等が有りましたら、東地協ニューススタッフまでお願いします。

また、技術ノートの在庫もありますので希望者は協会事務局までご連絡下さい。



## 東地協ニュース 2004.春 第3号

発行・編集 (社)東京都地質調査業協会

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-6-8 (内神田クレストビル)

TEL 03-3252-2963 FAX 03-3252-2971

<http://www.tokyo-geo.or.jp/> E-Mail [info@tokyo-geo.or.jp](mailto:info@tokyo-geo.or.jp)



